



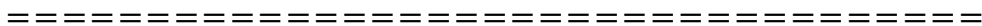
| 温カナ! news | 第 62 号 | 2026 年 10 月 30 日 |



| 発行 | 神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室



メールマガジン「温カナ! news」は、脱炭素社会の実現に向けて、
脱炭素につながる取組を広めていくことを目指して、かながわ地球温暖化
防止活動支援コーナーが配信しています。



☆ 目 次

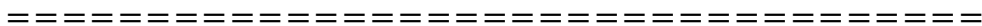
■ ニュース・イベント情報

■ 県の環境教育に御支援いただきました！！

◇ (株) カネダ様

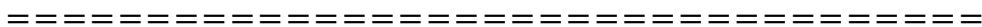
◇ JFEスチール (株) 様

■ お知らせ



■ ニュース・イベント情報

～県内を中心とした脱炭素に関する情報を紹介します～



< ニュース >

◆ エルニーニョ監視速報

気象庁は、2026 年春から続いているエルニーニョ現象は、9 月に入り過去最大の強さとなっており、今後、冬にかけて過去最大の強さのエルニーニョ現象が続く見込みであることを発表しました。

https://www.data.jma.go.jp/cpd/elnino/kanshi_joho/kanshi_joho1.html



◆ 温室効果ガスに関する情報と知見を集約する「日本 GHG センター」を設立

～関係機関の連携・協力を強化し、気候変動対策の加速と早期の脱炭素化達成に貢献～

これまで大学、研究機関、政府機関等国内に分散していた温室効果ガスに関する観測データや、それらに基づく解析・評価結果等の科学的知見を結び付け、ワンストップで案内・発信する、国内初のオールジャパンの情報ハブが創設されます。

<https://www.nies.go.jp/pr/news-and-updates/2026/20261001-2.html>



◆ 適切な管理を行うことで、太陽光発電所に「半自然生態系」が成立する可能性を提示

東京都立大学は、森林景観に立地する太陽光発電所では、パネル下をコンクリート等で覆わず、草刈り等によって植生を維持することで、生物多様性に貢献できる可能性があるとの研究成果を発表しました。

<https://www.tmu.ac.jp/news/topics/38950.html>

◆地球環境の危機と希望～『生きている地球レポート 2026』を発表

世界自然保護基金は『生きている地球レポート 2026』を発表しました。その中で、生物多様性の豊かさを示す「生きている地球指数」が73%減少したことを明らかにしました。減少の主な原因は、生息地の喪失や劣化、乱獲などの過剰な利用、気候変動、汚染、侵略的外来種、疾病などです。

<https://www.wwf.or.jp/activities/lib/6415.html>

◆「横浜マラソン 2026」で発電機向けに 100%合成燃料軽油を供給

ENEOS（株）は「横浜マラソン 2026」において、大会会場で使用される発電機向け燃料として 100%合成燃料軽油を供給しました。

https://www.eneos.co.jp/newsrelease/20261016_01_01_mr07.pdf

◆関東～関西間における海上輸送を開始

（株）明治とネスレ日本（株）は、両社の貨物を往復輸送組み合わせた海上輸送を開始すると発表しました。この取組により、長距離輸送におけるドライバーの拘束時間を削減するとともに、空荷走行の削減による車両稼働率の向上を実現します。また、トラックのみで輸送する場合と比べて、年間の CO₂ 排出量を約 50%削減できる見込みです。

https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2026/10_12/index.html

<イベント>

※天候や主催者側の都合等により、イベントが中止になる場合もありますので、イベント実施の有無については、各イベントのホームページで随時御確認ください。

◆「ステハジ」EXPO 2026

日時：11月5日（木曜日）9時30分～17時

場所：ぴあアリーナ MM

共催：（株）OSG コーポレーション、GREEN×EXPO 協会

<https://www.osg-nandemonet.co.jp/sustainability/sutehaji/sutehaji-expo-2026/>

◆第2回グリーンファイナンスセミナー

日時：11月6日（金曜日）15時～16時20分

申込締切：11月5日（木曜日）12時【締切間近】

場所：オンライン

主催：環境省

https://www.env.go.jp/press/press_05579.html

◆みなとみらい21地区「脱炭素先行地域」における脱炭素化達成感謝状贈呈式・中間報告会の参加者募集

日時：11月11日（水曜日）14時～16時

申込締切：11月4日（水曜日）※先着順【締切間近】

場所：横浜市役所3階 多目的室、オンライン

主催：横浜市、（一社）横浜みなとみらい21

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2026/MMDatsutanso.files/MMKanshajoCeremony.pdf>

◆チューリッヒに見る、データセンター排熱を活用した地域熱供給

日時：11月11日（水曜日）16時～17時30分

場所：オンライン

主催：SJS スイス-日本サステナビリティ交流会、気候ネットワーク

<https://kikonet.org/content/40103>

◆森林吸収源目標はどう実現するのか～森林計画と木材利用から考える 2050年カーボンニュートラル

日時：11月17日（火曜日）18時～19時30分

場所：地球環境パートナーシッププラザ（東京都渋谷区）、オンライン

主催：国際環境 NGO FoE Japan、地球・人間環境フォーラム、佐藤岳利事務所

https://peatix.com/event/5207142?utm_medium=web&utm_source=results&utm_medium=%3A35.4346%2C139.6483%3A%3A%3A5207142&utm_campaign=tag_ids_5206&srchid=2212%25Bt8%25twjuD3Gy2kE%25

◆異常気象の未来予測～気候メカニズムから地域の未来を捉える～

日時：11月22日（日曜日）14時～16時30分

場所：生涯学習センターけやき、オンライン

申込締切：11月20日（金曜日）※先着順

主催：非営利株式会社 BUND

<https://peatix.com/event/5220400>

◆「令和8年度第2回環境スキルアップ講座」

環境学習リーダーや環境に興味のある方を対象とした講座です。

今回は『地圏環境中のマイクロ・ナノプラスチック ―その挙動と影響―』というタイトルで、早稲田大学の川邊能成教授より講演していただきます。

日時：12月8日（火曜日）14時～16時

場所：オンライン（リアルタイム配信、オンデマンド配信）

参加費：無料

応募期間：11月6日（金曜日）～11月23日（月曜日）まで 先着100名

主催：県環境科学センター

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/event.html>

■県の環境教育に御支援いただきました！！

県では、企業等の皆様から、県環境課ホームページへの

バナー広告の掲載を通じ、「環境・エネルギー学校派遣事業」などの

県の環境教育事業に御支援をいただいています。

現在、次の企業の皆様から県の環境教育に御支援をいただいています。

■（株）カネダ様

◇◆環境にやさしく◆◇

<https://eco-kaneda.com/>

■JFEスチール（株）様

◇◆常に最高の技術をもって社会に貢献します。◆◇

<https://www.jfe-steel.co.jp/>

県の環境教育を御支援いただくバナー広告を募集中！

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/koukoku.html>

■お知らせ

◆C02C02(コツコツ)減らして、コツコツ増やそう！

～脱炭素につながる商品の購入等を後押しするお得なキャンペーン～

県では、脱炭素につながる商品の購入等でポイントを上乘せするキャンペーン「かながわ CO2CO2（コツコツ）ポイント+（プラス）」をドラッグストアやオンラインストア含む 16 事業者・県内約 850 店舗等で実施中！

複数の事業者をご利用いただくことでデジタルスタンプラリーにもご参加いただけますので、店舗を巡って様々な商品を手にとってみてください！

キャンペーン期間：10 月 1 日（木曜日）～12 月 28 日（月曜日）

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0522/co2co2pointplus/>

◆「ペロブスカイト太陽電池」を県内に初導入！

県では、「薄くて、軽く、曲げられる」特長を持つ国産のフィルム型ペロブスカイト太陽電池の早期社会実装を図るため、従来の太陽電池では設置が困難だった県有施設に、ペロブスカイト太陽電池を先行的に導入し、「どこでも太陽光発電」の実現に取り組みます。

なお、本事業は、国の「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業」を活用して実施します。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/prs/r5401342.html>

◆「次世代型太陽電池」の早期社会実装に係る実証事業を採択しました！

県では、ペロブスカイト太陽電池やカルコパイライト太陽電池等の次世代型太陽電池の早期社会実装を図るため、量産化後の県内展開を見据えて、県特有の地域特性を活かし、県内での実装に向けて広く有効な検証結果が得られる県内の民間施設での実証事業を行うこととしており、このたび、港湾施設の倉庫からビル、エクステリアといった多様な施設で実施予定の事業 5 件を採択しましたのでお知らせします。

採択した事業の概要は次のとおりです。

【事業者名】藤木 EEM（株）※

実証場所：横浜共立倉庫（株）横浜事業所

実証場所の分類：倉庫

【事業者名】東京ガスエコモ（株）※

場所：東京ガスエコモ（株）洋光台ビル

実証場所の分類：オフィスビル

【事業者名】第一交通産業（株）

場所：ヒノデ第一交通（株）磯子営業所
実証場所の分類：車庫

【事業者名】スズキ（株）横浜研究所
場所：スズキ（株）横浜研究所内駐輪場
実証場所の分類：駐輪場

【事業者名】グリーンライフ産業（株）
場所：グランド工房 相模原店、湘南店
実証場所の分類：エクステリア

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/prs/r7952627.html>

※横浜市の補助事業としても採択された事業

<参考：横浜市 HP>

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2026/0807pschojo.html>

《以下は昨年度から継続している実証です。是非ご覧ください。》

【（株）PXP】令和7年10月25日～

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000023.000131866.html>

※サテライト展示として、県庁渡り廊下でも実証中

◆次世代型タンデム太陽電池の実証を開始しました！in あーすぷらざ
国内初！フィルム型の次世代型タンデム太陽電池の実証開始

県と（株）PXPは、「脱炭素化促進のための次世代型タンデム太陽電池の社会実装に向けた連携協定」に基づく取組の第1弾として、7月9日（木曜日）から、県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）において、国内初のフィルム型の次世代型タンデム太陽電池の実証を開始しました。

今後、他の県有施設でも順次実証を開始していきます。

期間：令和8年7月9日（木曜日）から約1年間

場所：県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）（横浜市栄区）

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/001/perobusukaito.html>

<参考：県と（株）PXPの連携協定>

<https://www.pref.kanagawa.jp/chiji/photolog/2025/0126.html>

◆ペロブスカイト太陽電池の「県庁新庁舎での展示」を実施中！

※県庁東庁舎 1 階でも、令和 8 年 8 月 14 日から N ゲージ（鉄道模型）を設置しています。

【ホームページ】 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f70237/>

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f360478/pl12188912.html>

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/index.html>

[illegible]